

小学校三年

ゆうチャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、小学校第三学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校三年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。

今から一回だけ問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙の空いているところにメモを取りましょう。

さとみさんの学級では、国語の時間に「うれしくなる言葉」という題でスピーチをしています。あなたも、学級の一員になったつもりでさとみさんのスピーチを聞きましょう。

先生

それでは、友達から言われて「うれしくなる言葉」のスピーチを始めます。みんなは、どんな言葉を言われたときにうれしくなるのか、しっかりと聞きましょう。さとみさん、どうぞ。

さとみ

わたしが、「うれしくなる言葉」は「がんばったね。」という言葉です。今から、わたしがうれしくなった理由を話します。わたしは、一学期に鉄棒の逆上がりができませんでした。そこで、夏休みに学校へ来て、ゆきさんと逆上がりの練習をしていました。でも、なかなかできません。それでも毎日毎日練習していると、夏休みが終わる頃に、初めて逆上がりができました。そのとき、ゆきさんが、「がんばったね。」と声をかけてくれました。何回も何回も練習してやっと逆上がりができたときに言われたので、「がんばったね。」という言葉がうれしくて、心が温かくなりました。わたしは、この教室をこんな「うれしくなる言葉」でいっぱいにしたいです。

先生

さとみさん、ありがとうございます。さとみさんのうれしかった気持ちが伝わってきましたね。感想はありませんか。では、ひろしさん、どうぞ。

ひろし

はい、さとみさんは、逆上がりがやっとできたときに、ゆきさんから「がんばったね。」と言われたから、うれしかったと思います。ぼくも、この前、友達からその言葉を言われたら、うれしくなりました。

感想の発表は続きますが、放送はこれで終わりです。

それでは、問題用紙を開いてはじめてください。